

第 3 5 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 9 年 4 月 2 8 日 開始 1 5 : 0 0 終了 1 6 : 1 0

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 1 9 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番 (会長代理)	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
6 番	欠 員	1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	欠 員	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 0 名

議事録署名委員 1 1 番 鈴木 信 1 5 番 吉田 友子

議事日程

第 1	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 2	議案第 2 2 6 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 3	議案第 2 2 7 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 4	議案第 2 2 8 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 5	議案第 2 2 9 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 6	議案第 2 3 0 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・一般農業者)

事 務 局	5 名	事務局長 吉国 保信	次長 河野 あずさ	
		調整係長 酒井 尋	主任技師 古屋 雅史	主事 川畑 裕

会 長 ただいまから、第３５回農業委員会総会を開催いたします。本日の出席委員は１９名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長 本総会での議事録署名委員の指名をいたします。
議事録署名委員は、１１番 鈴木信 委員、１５番 吉田友子 委員にお願いします。

会 長 審議に入ります前に、送付議案書の訂正がありますので、事務局の説明を求めます。

事務局 議案の訂正をお願いします。１ページをお開きください。
農地法第１８条第６項の規定による届出について、議案提出年月日を平成２８年４月２８日と記載しておりましたが、正しくは平成２９年４月２８日でありますので、訂正をお願いします。

会 長 説明はお聞きのとおりであります。ただちに議案審議に入ります。

報告：農地法第１８条第６項の規定による届出について

会 長 まず報告、農地法第１８条第６項の規定による届出について、事務局より報告させます。

事務局 農地法第１８条第６項の規定による合意解約について、報告いたします。
今回の合意解約は１件でございます。内容といたしましては、貸人の申し出が解約の理由となっております。

会 長 報告はお聞きのとおりでございます。

議案第２２６号：農地法第３条の規定による許可申請について

会 長 次に議案２２６号は、農地法第３条の規定による許可申請についてであります。
それでは議案２２６号、受付番号１番から３番の３件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局 議案第２２６号、農地法第３条の規定による許可申請は、受付番号１番から３番の所有権移転に関する３件

事務局

であります。

事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第3条第2項各号の不許可の事由につきましては、

「第1号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第3号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第4号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第5号」 権利取得を含めた経営農地が50アールに達しない場合

「第6号」 今回の申請農地を転貸しようとする場合

「第7号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、であります。

今回の許可申請、受付番号1番から3番の3件については、農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、大東地区委員会より受付番号1番から2番の2件の説明をお願いします。

14番

議案第226号、農地法第3条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号1番と2番の所有権移転に関する2件であります。

受付番号1番につきましては、受人は渡人から申請地を貸借し、施設キンカンの栽培を行っていますが、今回、渡人の希望により売買するため申請されたものです。受人世帯はキンカン70アール、水稻60アールの農業経営を行っており、機械保有・労働力・技術面からみても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、農業従事状況につきましては、受人は会社勤めであるため100日ではありますが、妻が300日の従事があり、キンカンの収穫である繁忙期には、臨時に10名を雇用するため問題ありません。なお、申請地周辺の農地は、申請地と同じく施設果樹でありますので、農薬散布などの影響もなく問題ありません。

1 4 番

次に、受付番号 2 番につきましては、受人は渡人から申請地を貸借し、施設キンカンの栽培を行っています。今回、渡人の希望により売買するため申請されたものです。受人世帯はキンカン 9 0 アール、マンゴー 1 5 アール、食用甘藷 2 0 アールの農業経営を行っており、機械保有・労働力・技術面からみても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、農業従事状況につきましては、受人と妻が 3 0 0 日以上あるため問題ありません。また、繁忙期には臨時に 3 名の雇用があるため、作業状況にも問題ありません。なお、申請地周辺の農地は、申請地と同じく施設果樹でありますので、農薬散布などの影響もなく問題はありません。

以上、大東地区委員会において、受付番号 1 番と 2 番の所有権移転に関する 2 件について、慎重審議してまいりましたが、農地法第 3 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議よろしく申し上げます。

会 長

次に市木地区委員会より、受付番号 3 番の 1 件の説明をお願いします。

2 2 番

議案第 2 2 6 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件であります。

受付番号 3 番は、渡人である父が高齢であることから、受人である息子へ贈与を行うものであります。申請地には水稻 1 2 0 アール、ポンカン 3 0 アール、露地野菜 1 0 アールの作付けが行われていますが、贈与後も同じ作付けを行うため、農薬使用の違いによる周辺農地への影響はありません。受人世帯は、本人が 2 0 0 日・妻が 1 5 0 日以上の農業従事があり、機械保有・労働力・技術面においても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、地域活動である水利調整への参加に協力していくとのでありますので、問題ありません。

以上、受付番号 3 番の所有権移転について、担当委員より報告を受け、市木地区委員会で慎重に審議してまいりましたが、農地法第 3 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第 2 2 6 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長	<p>ないようですので、議案第 2 2 6 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について、決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
会 長	<p>異議なしということですので、議案第 2 2 6 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件は、許可することに決定します。</p>
会 長	<p>議案第 2 2 7 号：農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について</p> <p>次に議案第 2 2 7 号は、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見についてであります。 それでは議案第 2 2 7 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 2 2 7 号、農地法第 4 条の規定による許可申請は、受付番号 1 番から 3 番の 3 件であります。 農地法第 4 条第 6 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、</p> <p>「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合</p> <p>「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合</p> <p>「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合</p> <p>「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合</p> <p>「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。</p> <p>受付番号 1 番と 3 番の 2 件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため「第 2 種農地」に区分されることから、農地法第 4 条第 6 項 1 号ロには該当しておりません。</p> <p>また、受付番号 3 番につきましては、申請人が死亡された父名義を農地に転用する申請ですが、相続の権利</p>

事務局

を有する母及び兄弟 2 人全員の同意があるため、農地法第 4 条第 6 項第 3 号に該当していないため問題ありません。

次に、受付番号 2 番の申請地の農地区分は、不許可の事由となる農地法第 4 条第 6 項第 1 号イの「農用地区域内」に該当しておりますが、農地法第 4 条第 6 項ただし書に「農用地区域内であっても、農業振興地域の整備に関する法律第 8 条第 4 項に、都道府県知事の同意を得て指定された用途に供するため農地以外のものにしようとするときは、この限りではない。」と定められており、申請地は平成 29 年 2 月 6 日に農業用施設用地として用途変更の公告がなされているため、許可要件を満たしています。

したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号 1 番から 3 番の 3 件につきましては、農地法第 4 条第 6 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。

3 番

議案第 227 号、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番の 1 件でございます。

受付番号 1 番は、申請者住宅の敷地内に後継者住宅を建築したところ、住宅東側の一部が農地にかかっていることが判明したため、地目変更を行う申請であります。申請地の北側と西側は申請人の畑、南側は里道であります。住宅を建築した箇所は畑・里道から 3 メートル離れているため、営農条件や道路管理及び通行に支障を及ぼすことはありません。また、生活雑排水は浄化槽を使用し、雨水は溜枡を利用し市道側溝へ流しているため問題ありません。

以上、福島地区委員会において受付番号 1 番の 1 件を慎重審議してまいりましたが、農地法第 4 条の許可要件を満たしており、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

次に、大東地区委員会より受付番号 2 番の 1 件の説明をお願いします。

14 番

議案第 227 号、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請について、大東地区は受付番号 2 番の 1 件でございます。

14番

受付番号2番については、申請人は母牛29頭・子牛18頭の肉用牛の繁殖経営を行っていますが、後継者夫婦が就農することから、母牛54頭増・子牛40頭増の規模拡大を図るため、畜産の補助事業を活用し、牛舎2棟の建築を行うものであります。申請地周辺は、南側が申請人の既存牛舎、北側・西側・東側は畑でありますので、周辺農地の営農に支障を及ぼさないよう、3から4メートルの距離を置いて建築を行い、また、土砂流失については、境界にある畦畔を活用し、防止に努めるとのことです。家畜の糞尿については、おが屑を敷き、吸水させたものを堆肥舎で発酵させ、飼料作物栽培の堆肥として利用されることから畜舎外に流失する恐れもなく、雨水は申請地の東側にある既存側溝へ排出させるため問題ありません。

以上、大東地区委員会において、受付番号2番の1件を慎重審議してまいりましたが、農地法第4条の許可要件を満たしており、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長

次に、本城地区委員会より受付番号3番の1件の説明をお願いします。

19番

議案第227号、農地法第4条第1項の規定による許可申請について、本城地区は受付番号3番の1件でございます。

受付番号3番は、申請地周囲の山林化に伴い耕作困難となったことから、申請人の父が昭和46年から47年頃に地目変更を行わず、植林をしたことが判明したため、今後も山林として監理していきたいとの意向があり、申請されたものでございます。申請地周辺のほとんどは山林であります。一部農地に隣接する箇所があります。しかし、その農地は南側に位置しているため、日照等の影響はないと考えます。また、排水については自然浸透が主とし、農地に隣接する箇所については、既存排水に流れるようにしていくとのことですので問題ありません。

以上、受付番号3番の1件について、担当委員より報告を受け、本城地区委員会で慎重に審議してまいりましたが、すべてが農地法第4条の許可要件を満たしており、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会長

説明はお聞きのとおりでございます。

これより議案第227号、受付番号1番から3番の3件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 2 2 7 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 2 2 7 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件は許可相当とし、受付番号 3 番の 1 件は宮崎県常設審議委員会へ意見を求め、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 2 2 8 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に議案第 2 2 8 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見についてであります。
それでは議案第 2 2 8 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 2 8 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請は、受付番号 4 番を除く受付番号 1 番から 8 番の所有権移転に関する 7 件と、受付番号 4 番の使用貸借に関する 1 件であります。

農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号 1 番から 3 番の 3 件の農地区分につきましては、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運

事務局

用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法第8条第1項第1号に規定されている「準住居地域」に該当するため、「第3種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該当していません。

受付番号4番から8番の5件の申請地農地区分につきましては、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該当していません。

したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番から8番の8件につきましては、許可要件をすべて満たしていると思われまます。皆様のご審議をお願いいたします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号1番から5番の5件の説明をお願いします。

3 番

議案第228号、農地法第5条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番から3番と5番の所有権移転に関する4件と、受付番号4番の使用貸借に関する1件でございます。

まず、受付番号1番と2番の2件は、受人と渡人が同一でありますので、併せて報告します。今回の申請は学校等が近く、住環境が良好で需要が見込めることから、受人である不動産会社が分譲住宅を建築するため申請され、受付番号1番では分譲住宅への進入を確保するため、公衆用道路を整備し、受付番号2番は住宅4棟を建築する申請であります。受付番号1番の申請地周辺は北側にある公衆用道路以外は、受付番号2番で申請されている住宅用地でありますので周囲に農地はありません。許可後は公衆用道路として整備するため舗装を行い、また、家庭排水処理対策として市道にある既存側溝まで新たに側溝を設置するため、周辺へ影響を及ぼす恐れはありません。また、今回の公衆用道路については、工事完了後、宮崎県の道路位置指定を受けるとのことです。受付番号2番については、申請地の外周と住宅建築毎に境界としてブロック積みを行うため、土砂流失の恐れはありません。また、家庭用雑排水と雨水は、受付番号1番の公衆用道路に新設される側溝へ通じて、市道側溝へ排出させることとなりますので問題ありません。

次に、受付番号3番について、受人は受付番号2番で報告しました申請地の北側で個人住宅を建築中ですが、今回の受付番号1番の公衆用道路から出入りを行うため、宅地の一部として取得する申請であります。申請地は北側が市道、西側が受付番号1番で報告しました公衆用道路予定地、東側は受人が現在住宅建築中である宅地、南側が受付番号2番で報告しました分譲住宅予定地ありますので、境界にブロック積みを行い、土砂流失等の対策をされることから、何も問題ないと思います。雨水についても、新設される公衆用道路の側溝へ排出させる計画でありますので、問題ありません。

3 番

次に、受付番号4番について、受人は家族3人で借家に居住していますが、借家住まい解消のため実家に隣接する父所有の申請地を使用貸借し、個人住宅を建築する申請でございます。申請地の周囲につきましては、北側・西側・東側に農地がありますが、北側には既存のブロックが積まれていますので問題はありませんが、西側・東側にはありませんので、土砂流失を防止するためのブロック積みを行うとのことです。また、南側は父である渡人の住宅がある宅地であります。今回住宅を建築するに当たり、申請地までの進入路がないことから、渡人の宅地から進入することの同意を得ているため、問題ありません。また、生活雑排水は浄化槽を経由し、雨水は渡人の宅地にある既存側溝につなぎ、市道へ排出しますので問題ありません。

次に、受付番号5番について、受人は母牛80頭・子牛60頭の肉用牛の繁殖経営を行っていますが、母牛30頭増・子牛17頭増の規模拡大を図るため、渡人である父から贈与を受け、畜産の補助事業を活用し、繁殖牛舎と子牛育成牛舎の建築を行うものであります。申請地周辺は、北側と東側が山林、西側と南側の宅地は受人の所有地でありますので農地はなく、周囲に影響を及ぼす恐れはありません。また、土砂流失については、境界にある畦畔を活用し、防止に努めるとのことです。家畜の糞尿については、おが屑を敷き、吸水させたものを堆肥舎で発酵させ、飼料作物栽培の堆肥として利用されることから畜舎外に流失する恐れもなく、雨水は申請地の東側にある既存側溝へ排出させるため問題ありません。

以上、福島地区委員会において、受付番号1番から5番の5件について慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

次に、大東地区委員会より受付番号6番から8番の3件の説明をお願いします。

1 4 番

議案第228号、農地法第5条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号6番から8番の3件でございます。

まず、受付番号6番と7番の2件は、申請目的と受人が同一ですので併せて説明します。2件の申請は譲受人である林業・製材会社の製材工場に近く、製材用及びバイオマス発電用の丸太等を増産するため、植林を行い山林として管理していく申請であります。申請地周辺は山林化しており、農地もないことから周辺へ影響を及ぼす恐れはありませんが、一部JR線路敷に隣接しているところがありますが、すでに鉄道事業部と植栽箇所及び管理方法を協議しているため問題なく、また、雨水については自然浸透で問題ありません。

次に、受付番号8番について、渡人が市外在住者であること、申請地周辺が山林と宅地に挟まれた59㎡の狭小な農地であること、土地形状が傾斜地であることから、農地として管理することが困難であり、受人が買受後、クヌギを植林し、山林として管理する申請であります。申請周辺は農地もなく、雨水も自然浸透で対処

1 4 番

できるため問題ありません。

以上、大東地区委員会において、受付番号 6 番から 8 番の 3 件を慎重審議してきましたが、3 件すべてが農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第 2 2 8 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第 2 2 8 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 2 2 8 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件は許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長

次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認についてであります。審議に入ります前に、あらかじめ市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成 2 9 年 4 月分につきましては、串間市長より平成 2 9 年 4 月 2 0 日付、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 1 項の規定による農用地利用集積計画の承認が求められております。

内容につきましては、議案第 2 2 9 号・所有権移転が 2 件・面積が 3, 4 5 9 m²、議案第 2 3 0 号・受人が一般農業者である利用権設定が 2 件・面積が 8, 8 9 3 m²でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

それでは、ただいまから市からの提案について審議に入ります。

議案第 2 2 9 号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転

会 長

議案第 2 2 9 号は、農用地利用集積計画の所有権移転分についてであります。
それでは議案第 2 2 9 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件を議題といたしまして、審議を行いたいと思います。
まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 2 2 9 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は受付番号 1 番から 2 番の 2 件であります。
「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項、
第 1 号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること
第 2 号イ) 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること
第 2 号ロ) 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること
であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番と 2 番の 2 件については、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われまふ。皆さんのご審議をお願いいたします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。
ただいまの説明に対しまして、関係地区委員会より調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。

3 番

議案第 2 2 9 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号 1 番の 1 件でございます。
受付番号 1 番の 1 件は、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番の 1 件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、本城地区委員会より受付番号２番の１件の説明をお願いします。

１９番

議案第２２９号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、本城地区は受付番号２番の１件であります。

受付番号２番は、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、本城地区委員会において担当委員より報告を受け、慎重に審議してまいりましたが、受付番号２番の１件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第２２９号、受付番号１番から２番の２件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようでございますので、議案第２２９号、受付番号１番から２番の２件について承認してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第２２９号、受付番号１番から２番の２件を承認して市へ通知します。

会 長

議案第２３０号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分

次に議案第２３０号は、農業経営基盤強化促進法に基づく、農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分についてであります。

それでは議案第２３０号、受付番号１番から２番の２件を議題といたしまして、審議を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第２３０号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般

事務局

農業者分は受付番号 1 番から 2 番の 2 件であります。

事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番から 2 番の 2 件は、先ほど議案第 2 2 9 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われまます。皆さんのご審議をお願いいたします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまの説明に対しまして、市木地区委員会より受付番号 1 番から 2 番の 2 件の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

2 2 番

議案第 2 3 0 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、市木地区は受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。

受付番号 1 番と 2 番については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、市木地区委員会において担当委員より報告を受け、慎重に審議してまいりましたが、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまから議案第 2 3 0 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第 2 3 0 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件について承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 2 3 0 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件を承認して市へ通知します。

会 長

以上で議案審議は全部終了しました。慎重・審議、誠にありがとうございました。